



令和4年12月12日（月）  
九州地方整備局 鶴田ダム管理所

## 大鶴湖（鶴田ダム湖）インフラツーリズム関係者会議の設立 及び第1回会議の開催について

鶴田ダムでは、令和元年7月に国土交通省の施策であるインフラツーリズム魅力倍増プロジェクトに全国5か所のうちの1か所として登録がなされました。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03\\_hh\\_000219.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000219.html)

鶴田ダムは昭和41年完成以来、最盛期には年間3千人にもなる多くの見学者が訪れており、治水や発電の目的と併せて、社会科見学及び観光地として地域の活力の場として利用されており、今後も大きな期待が寄せられています。

令和2年度からのコロナウイルスまん延により、インフラツーリズムの活動が停滞していましたが、活動を再開していきたいと考えています。

つきまして、この度「大鶴湖（鶴田ダム湖）インフラツーリズム関係者会議」を設立し、第1回会議を下記のとおり開催いたします。

### 記

○日時 : 12月14日（水）13:30～15:00

○場所 : 鶴田ダム管理所 防災室（2階）

○参加予定者 : さつま町、伊佐市、地域住民（NPO法人河川協力団体他）  
電源開発株、鶴田ダム管理所、川内川河川事務所 他

○主な議事内容 : 関係者会議の設立について、  
観光素材の収集について、  
今後の進め方

○場所 : 鶴田ダム管理所 防災室（2階）

○問い合わせ先 : 鶴田ダム管理所 管理係 緒方専門官、軸屋係長、亀井  
連絡先 : 0996-59-2030